

須坂市立須坂小学校 ICT 教育支援

前川道博ゼミ 小林 陽

●概要

2023 年 10 月 27 日（金曜日）、須坂市立須坂小学校の二年生を対象に、ICT（情報通信技術）を活用した主体的な学習の教育支援を実施しました。このプロジェクトでは、生徒たちは個々に持っているタブレットを活用し、地域内での探検活動を通じて写真を撮り、その写真をインターネット上にアップロードするという活動を行います。この授業を通じて、ICT の活用を通じた主体的な学びの楽しさを生徒たちに提供し、また地域についてより深く理解してもらうことを目指します。

全 2 回構成：第 1 回→地域探検 第 2 回→デジタルマップへ投稿

このプロジェクトの主な目的は、以下の点を達成することです：

1. ICT の活用を通じて主体的な学びの楽しさを生徒たちに伝える。
2. 地域の魅力や特徴をより深く知ってもらう。
3. 生徒たちの協力と創造性を促進し、新たなスキルを身につけさせる。

プロジェクトの詳細について以下で詳しく説明します。

●第 1 回の支援の詳細（10 月 27 日(金) 1～2 時間目）

1. 対象：須坂小学校 2 年松組 計 36 名
2. ねらい：子供たちが楽しみながら地域探検を通して須坂中央地域への関心を高め、自分の須坂のお気に入りを見つける。
3. 展開

時間	学習活動	予想される児童の反応	指導上の留意点	備考
----	------	------------	---------	----

導入 (10分)	担当者紹介 地域探検の流れやどんな写真を撮ったら良いのか、注意事項などの説明	<ul style="list-style-type: none"> こんな写真を撮りたい 〇〇を見つけない！ 	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報などに注意することを伝える。 細かなことでも気になったものは撮影してもらいたい。(子どもならではの視点) ルールや決まりを守り、自由に撮影してもらう。 	
展開 (60分)	地域探検(班ごと) 校舎内や校舎の周りを班ごと自由に探検	<ul style="list-style-type: none"> 〇〇を見つけた！ ここも面白い、良い写真が撮れた。 班ごとに同じ場所に行くので、同じ写真になってしまう可能性がある。 その場所のメインの対象物の撮影が多くなる。 	<ul style="list-style-type: none"> 班ごとにばらばらにならないように注意する。 何を撮影するか迷っている児童には声をかける。 枚数制限はないので、たくさん撮影してもらう。 屋外で暑い可能性があるため、こまめに休憩を取る。 大学生や中央地域づくり委員会の方も児童と交流しながら一緒にできると良いと考える。 	
まとめ (20分)	<ul style="list-style-type: none"> 今回の活動のまとめ 次回の活動について 	<ul style="list-style-type: none"> 実際に外で地域を感じながら写真を撮ることが出来て楽しかった。 新しい発見をすることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 次回は、今回の地域探検で撮った写真をデジタルマップに投稿することを伝える。 	

●生徒達の反応

①積極性→写真を撮る、地域探検に行くという非日常的な体験に対して楽しんでおり熱心に取り組む様子が見られた。

②創造性・協力→写真の画角や取り方など工夫している様子が見られた。タイマーをセットして撮る生徒や寝転がって下から撮る生徒など様々な工夫を凝らしていた。また、「こうやってとるといいよ！」などお互いにアドバイスをし合いアイデアを共有する様子も見られた。

③写真の選択→「これうまくとれなかった。」や「これお気に入り！」など撮っていくなかで様々な選択をしていた。撮った写真を見ながら「これはなんだろう。」と考える生徒もいた。写真一枚一枚に対して感情や評価が多様であった。

④視点・撮影物→神社に行った際、メインの神社だけでなく空や植物・読めない漢字などに興味・関心を示す様子が見られた。

★地域探検の様子



●高校生との比較（高倉大成）

2022年度県立蓼科高等学校で行った蓼科学の際と比較した相違点

- ・反応を素直に出すため好奇心の向き方がわかりやすく、アドバイス・助言がしやすかった
- ・わからないことに対する質問をたくさんしてくれた。
- ・撮る対象物以外のものへの興味（個人の視点での興味）が多かった
- ・写真をとることに関してのタブレットの使用スキルに差は感じなかった
- ・生徒達の積極的。高校生の場合自分が引き連れていたが小学生は自らいろんな所に行き写真の撮影をしていた。

●第2回の支援の詳細（10月31日(火)1～2時間目）

1. ねらい：地域探検を通して見つけたお気に入りや面白いと思ったものを選び、「須坂中央地域デジタルマップ」に投稿することで地域に対する学習意欲を高める。

2. 展開

時間	学習活動	予想される児童の反応	指導上の留意点	備考
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の地域探検の振り返り ・写真がきちんと撮れているか確認、どの写真を紹介するのか決める 	<ul style="list-style-type: none"> ・どこに地域探検に行ったのか、 ・地域探検に行っここが面白かったなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・初めに投稿する一枚を決めてもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイント
展開 (70分)	<ul style="list-style-type: none"> ・投稿の操作方法についての説明(15分) ・デジタルマップへの投稿(35分) ・投稿した記事の発表(20分) 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルマップへの投稿が初めてで難しい ・慣れてくると写真をどんどん投稿していく。 ・私も同じところがお気に入りだった。 ・行ったことある場所だ ・初めて見る場所で面白い！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・どこが面白かったのか、お気に入りのかをコメントに入れて投稿してもらう。 ・一緒に投稿しながら操作説明を進めていく。 ・操作で遅れてしまう児童には、個別でサポートする。 ・記事を1つ投稿できた人は2つ3つ投稿しても良い。 ・全体ではなく、グループに分かれて発表を行う。初めに同じ班ごと→メンバーを変更 ・短時間で終わってしまった班には、良かった点や共感した 	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイント ・タブレット

			点などを伝え合うように促す。	
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> 先生方や学生から好評をいただく 	<ul style="list-style-type: none"> 地域探検をすることが出来て楽しかった。 投稿することも面白い。 自分と同じお気に入りの人がいて嬉しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 今回の活動を通して良かった点や気づきなど 	

●期待される効果

- ・地域探検を通じて、須坂中央地域について関心が広がる。
- ・デジタルマップへの投稿から、自分の活動の記録になり形に残ることで振り返りを容易に行うことができる。また、デジタルマップの活用で生徒同士だけでなく、地域の方の投稿も閲覧することが可能になり、幅広く情報を得ることができると考える。